

未来を描く、こどもたちの声

こども・若者 ワークショップ

The Ashiya City Children and Youth Workshop



2024.8.9



こどもや若者が、自分自身が幸せな生活を送るために芦屋市にどうなってほしいか、自分たちがやってみたいことなどについて意見を出し合い、とりまとめを行なうワークショップを開催しました。

出された意見は、『第3期こども・若者輝く未来プラン「あしや」』の策定にあたって施策の方向性に反映させます。



ワークショップ概要

日 時	令和6年8月9日（金）13時30分から16時まで
会 場	芦屋市男女共同参画センター2階 大会議室
参加者	芦屋市内に在住している、または市内の学校に在学している 中学生から大学生：14名 ファシリテーター：1名（参加者の発言を促したり、話をまとめたりする進行役）

テーマ

子どもや若者が、自分自身が幸せな生活を送るために芦屋市に
どうなってほしいか、自分たちがやってみたいことなど

スケジュール



取り組み紹介

皆さん真剣に
聞いています

たくさん意見が
出ました！



意見交換・模造紙作成



参加証の授与

ワークショップ開催の経緯とこどもの居場所
への取り組みや、学校での取り組み紹介



3つの班に分かれて
自己紹介・居場所について意見交換



①子ども・若者にとってどんな社会が望ましいか
②自分たちはそのためにどんなことができるか
③芦屋市がどうなってほしいか
④私たちがやってみたいこと
などを考えて、ふせんに書いていく。
発表用の模造紙作成



班ごとに前に出て、発表



一人ずつワークショップの感想



参加証の授与

意見の反映

全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども基本法が作られました。こどもまんなか社会の実現を目指して、こども・若者の意見表明の機会の確保が社会全体に求められています。

芦屋市では、こどもから若者への切れ目のない支援を実現するため、令和7年度から令和11年度の5年間に向けて『第3期こども・若者輝く未来プラン「あしや」』を策定します。策定にあたり、ワークショップで出された意見は、基本目標に対する施策の方向性に反映させます。

ファシリテーター紹介



森垣 穂香 さん

NPO法人IHRP 副理事長

(大学生が運営する、高校生向け異分野融合研究プログラム)

芦屋市出身。高校時代から、こどもと子育てに関する活動に従事し、こども家庭庁の「こどもまんなか社会実現プラットフォーム」設立準備会合の委員として活躍。ワークショップの運営にも企画段階から参画していただきました。



1 班

意見まとめ



【イベント】

- ・物の交換できるイベント(制服や文房具などの物々交換)

【居場所】

- ・学校に行きたくない人が行ける場所

【学校】

- ・生徒の声を校則に反映
- ・制服の見直し、私服制度の導入

【意見・相談】

- ・気軽に相談できる場所
- ・悩みを打ち明けやすい場所

【自分たちができる取り組み】

- ・積極的に声を上げる
- ・居場所、イベントについて子どもや若者が発信

【場所】

- ・若者が積極的に地域と交流できる場所・機会がほしい
- ・自習室をもっと増やしてほしい

【環境】

- ・海の周りのゴミの減少

【同年代の交流】

- ・あしふく祭りや若者ワークショップの定期開催
- ・まちを歩き魅力を発掘するイベント
- ・リユースフェスタの開催



芦屋の未来
考えよう!



森垣さんの
コメント

同世代同士の交流や相談場所が必要だという意見は、大事な視点だと思います。同じような環境だったり、同じような悩みを持っているからこそ分かり合えると話してくれました。皆さんが楽しく、市について考え、行動しようとしている姿勢が印象的でした。

2 班

意見まとめ



【仲良くするために】

- ・自分でできることや可能性を見つける場所・機会
- ・ネットいじめはしない
- ・興味のあることがでできる場所や機会
- ・自分の考えを堂々と言える

【ルール、マナーをみんなで守る】

- ・歩きスマホをしない
- ・ルールを守る
- ・お酒を飲まない。たばこも吸わない。
(年齢制限を守る)
- ・インターネットの安全利用

【楽しい社会】

- ・芦屋市の楽しいところを紹介したマップがあったらいいな
- ・もっと芦屋市の魅力をアピールしてほしい
- ・リアルに集まれる場所の提供
- ・芦屋川でみんなでピクニックをしたい

【元気にくらすコツ】

- ・自然の風にあたる
- ・地域との交流
- ・勉強やスポーツに挑戦
- ・あいさつが大事

【キレイなまち】

- ・近くのそうじに参加する
- ・ポイ捨て禁止



協力して
頑張ろう！



森垣さんの
コメント

とてもわかりやすく分けてまとめてくれていたと思います。どうやったら楽しくなるかな、暮らしていく中でどういう仕組みがあったらいいかなというのをマップとして具体的なアイデアを出していました。

3 班

意見まとめ



【PR】

- ・芦屋市の良い所やイベントをPR
- ・市の施設で何をしているかをPR

【教育】

- ・すべての学生が世界に飛び出せる機会
- ・英語のコミュニティを作る
- ・学外で英語を学ぶ機会
- ・芦屋の歴史について学ぶ機会

【観光・生活】

- ・地域活動としてのだんじりの発展
- ・芦屋の良さをPR→観光者のためのパンフレットを私たちも作りたい。
- ・人との関わりを持つことができるあしふくのような活動
- ・若い世代が集まるようなお店を増やせないか。
- ・グローバルな国際的な市

【コミュニティ】

- ・人とのつながりを感じられる社会
- ・多世代交流の場の創出
- ・子ども・若者が気軽に悩みを打ち明けられる場所
- ・市内の施設の活用（美術館など）
- ・得意なことを教え合う場
- ・芸術、音楽のフェス、発表の場
- ・芦屋市民と海外からの移住者との交流発展
- ・継続的な集い場作り



アイデア
盛りだくさん！



森垣さんの コメント

芦屋の良さを広くPRしていきたいという強い思いが感じられました。特に印象的だったのは、芦屋のイメージを変えていきたいという提案です。先入観から脱却し、芦屋の自然や歴史、人々の魅力など、皆さんが芦屋の良さを誇りに思い、それを発信していくことが大切だと思います。

芦屋市長

高島 峻輔

未来世代の声を聴く。誰よりも芦屋市に長く住む可能性があり、大人と少し違う視点を持つ彼らの視点を借りることは、未来に責任のあるまちづくりには欠かせません。

でも、聴くだけでは不十分です。声が活かされてこそ、未来世代は「社会は変えられる」と声を上げ、行動し続けてくれるのだと思います。私たちはこれからもあなたの想いを大切に、計画をつくり、対話を続けます。さあ、ともに芦屋の未来を創りましょう！

芦屋市教育長

野村 大祐

皆さんのワークショップの意見を聞いて、『学校ってどうあるべきなのか、教育ってどうあるべきなのか』と自分自身で問い直しました。

多様な人々と話し合い、意見を交換することが、世の中を変えていく上で大事だと感じています。皆さんにも、周りの人々と対話を重ね、新しい視点を見つけ出してほしいと思います。

今日は色々なアイデアをいただきありがとうございました。この対話が続いていくことを願っています。

参加者の感想（アンケートより）

- ・芦屋の課題をたくさん見つけられた。
- ・自分が住んでいる市についてまだまだ知らない事を知るきっかけとなった。
- ・異年齢の若者同士、様々な考えが聞けた。
- ・同年代の人たちとお互いの意見や思いを共有し合えた。
- ・自分では考えないような意見を聞けた。
- ・新しい考えや視点がありとてもよかった。
- ・自分で考える機会が増えた。
- ・良い経験になった。
- ・時間が短くて意見が出きらない、まとまりきらないことが多く感じるのですが、本日は1人1人きちんと意見を出しきり発表することができた。
- ・模造紙の作成時間がもう少しあればよかったかなと思った。
- ・まだまだ班の人についてや班の人と共に議論をしてみたい。

ワークショップ参加メンバー

あべ こうたろう

くろい ゆうり

たかざわ つむぎ

なかい はるのすけ

みやした さゆり

いのうえ ただし

すぎの りっか

たけだ みゆ

ふくおか ひろと

やすざわ しゅうた

Okechi Marvel Akathi

せのお みずき

つねとも あおぞら

まつもと ゆい

あしふく

📍 659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14番9号

「こども家庭・保健センター」が市民のみなさんに親しまれるように中高生が意見をだして「あしふく」という愛称を決定しました。

あし→芦屋
ふく→みんなが幸福に
福祉がいきわたるように
という思いが込められています。

子育てセンター



スタディールーム



ミュージックスタジオ



子どもの権利条約の冊子について

芦屋市では、全てのこどもは、守られ大切にされなければならない存在であるとともに、こどもの人としての尊厳、人としての権利の主体であることを定めた「子どもの権利条約」の解説パンフレットを平成24（2012）年度から発行しています。保護者の方だけでなく、こども自身にも理解し考えてもらうために、「保護者版（乳幼児）」「小学生・保護者版」「中学・高校生・保護者版」を作成しています。



主催

芦屋市こども政策課

📍 659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号

☎ 0797-38-2045

✉ kosodatesuisin@city.ashiya.lg.jp

芦屋市教育委員会 青少年愛護センター

📍 659-0072 兵庫県芦屋市川西町15番3号

☎ 0797-31-8229

✉ aigo_c@city.ashiya.lg.jp

2024年12月発行